

今号の作業

リヤフェンダーを メインフレームに取り付ける



今号では、56号で組み立てたリヤフェンダーをメインフレームに取り付ける。このとき、メインフレーム後端に取り付けた左右ウインカーのケーブルをまとめるので、慎重に作業しよう。また、53号で電気系統チェックに使用した電池ボックスもフレーム内に組み込む。

今号のパーツ



- ①リヤフレームジョイント×1
- ②エキゾーストパイプジョイント×4
- ③ビス(Rタイプ)×1
- ④ビス(Wタイプ)×1
- ⑤メタルクリップE×1
- ⑥メタルクリップB×1
- ⑦4×9mmワッシャー付きビス×4
- ⑧ベースフレーム2×1

※②③④⑤⑥⑦⑧は今回使用しないので、大切に保管しておこう。

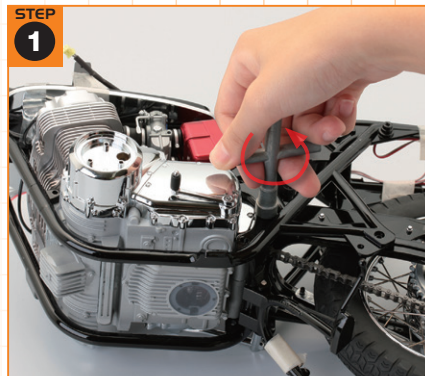
用意するもの

- ・多用途接着剤(「セメダイン スーパー-X-G」を推奨)
- ・ビス(Eタイプ)×1(32号で提供した予備を除く4本のうち残りの1本)
- ・ビス(Gタイプ)×1(34号で提供したもの)
- ・コードホルダー×3(34号で提供したもの)
- ・ビス(Eタイプ)×2(50号で取り外したものの)
- ・ビス(Qタイプ)×1(50号で取り外したものの)
- ・電池ボックス(53号でテストしたもの)
- ・メインフレーム(55号で組み立てたもの)
- ・リヤフェンダー(56号で組み立てたもの)

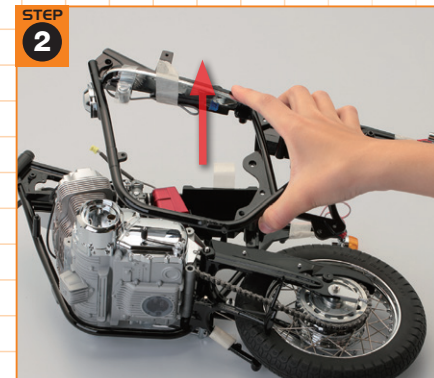
※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

使用する道具

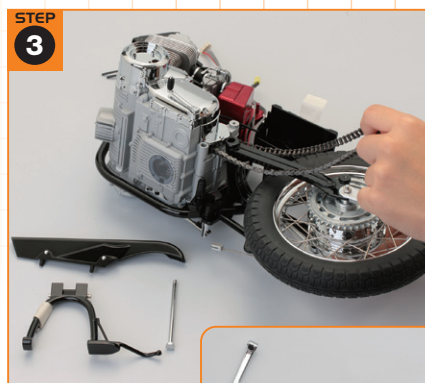
- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・ラジオペンチ
- ・ピンセット
- ・クロスレンチ(9号で提供したもの)



55号で仮組みしたメインフレームを用意し、写真のように置く。9号で提供したクロスレンチを使い、写真の位置にあるメタルナットを緩めて取り外す。

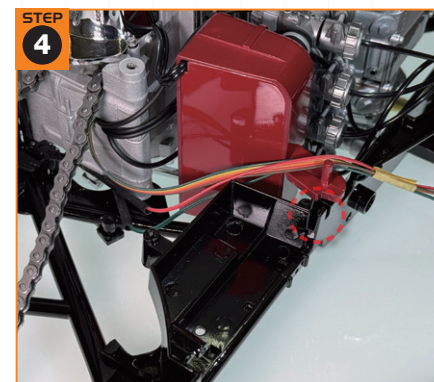


メインフレーム左をゆっくりと持ち上げて取り外す。

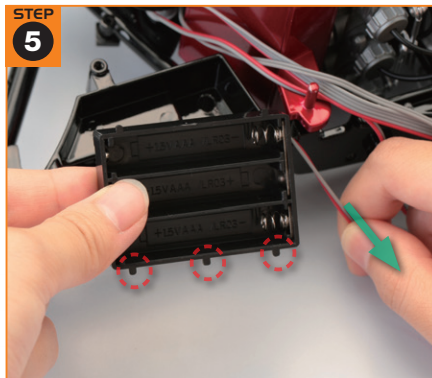


リヤブレーキアーム

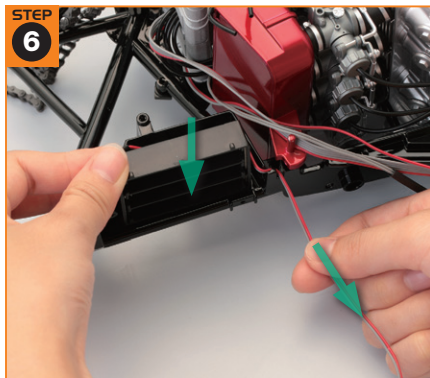
メインスタンド、チェーンカバー、フォークピボットシャフト、電池ボックスカバーを外し、次にドライブチェーンとリヤブレーキロット、最後にリヤフォークをフレームから取り外す(その後「メインスタンドだけ」セットする)。リヤフォークをフレームから取り外す際、リヤフォークに取り付け済みの「リヤブレーキアーム」の取り扱いには特に注意する。なお、ドライブチェーンとリヤブレーキロット、リヤフォークの取り外し方は、本誌54号で紹介したSTEP ⑬～⑳の“逆パターン”となる。



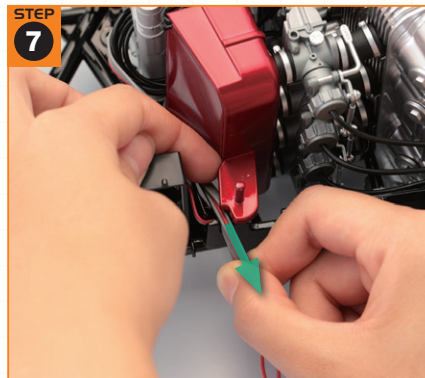
53号で使用した電池ボックスを用意し、メインフレーム右の写真に示した溝へケーブルを通す。



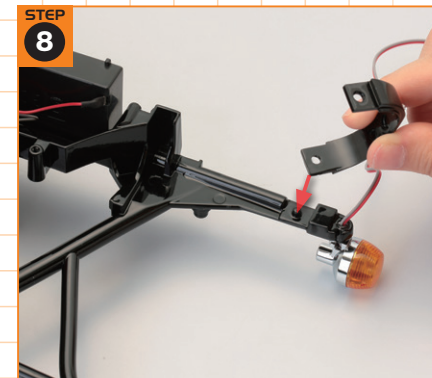
電池ボックスには取り付け向きがあり、側面に3つの突起がある側を下にしてメインフレーム右にセットする。



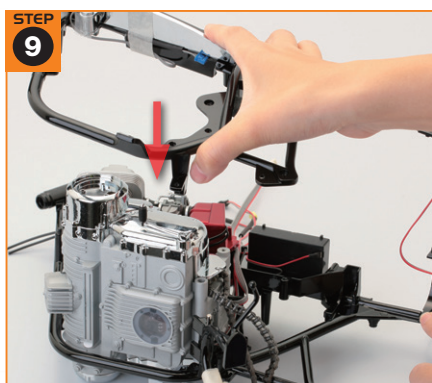
溝に通したケーブルをゆっくり引き出しながら、電池ボックスをフレーム内に取り付ける。取り付け位置には3つの取り付け穴が設けられているので、そこに突起を差し込む。なお、ケーブルは強く引っ張らないよう注意し、なおかつ電池ボックス下のスペースから“フレームの外”にはみ出さないようにする。



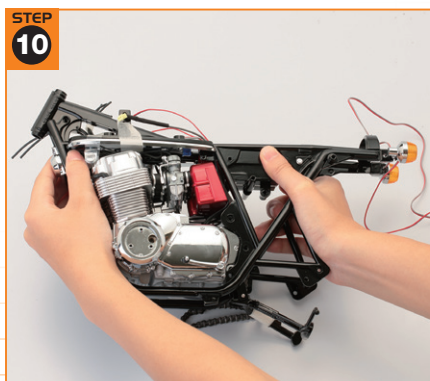
IRセンサー、リヤブレーキ、キックスターターから出ている各ケーブルをまとめ、電池ボックスのケーブルと同じ溝へ通して引き出す。



①リヤフレームジョイントを用意し、メインフレーム右の写真に示した位置にセットする。なお、メインフレーム左右の後端に仮留めしておいた左右リヤウインカーのケーブルは、この段階でマスキングテープを取り外しておく。



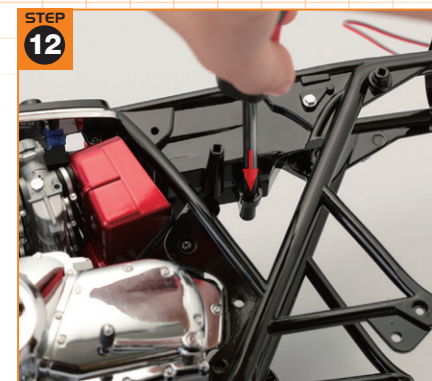
リヤフレームジョイントが外れないよう保持したまま、メインフレーム左をセットする。



各ケーブルをフレームの間に挟まないよう注意しながら、メインフレーム左右をしっかりと合わせる。



50号で取り外しておいたEタイプのビスを、1番の+(プラス)ドライバーでねじ込む。



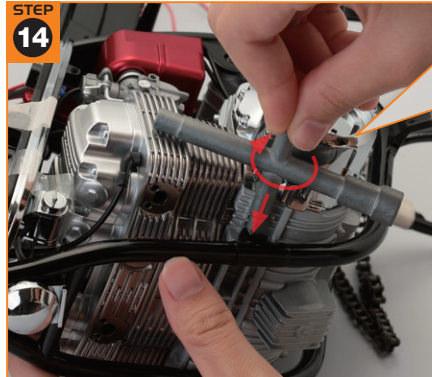
続いて、電池ボックス下のビス穴にもEタイプのビスをねじ込む。

STEP
13

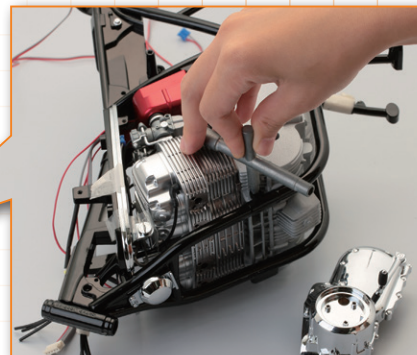


メインフレーム前端的ビス穴(写真参照)にも32号で提供したEタイプのビスをねじ込む。このビス穴にビスをねじ込むのは今回が初めてなので、ゆっくりとねじ込むようにしましょう。

STEP
14



エンジン前側のビス穴には50号で取り外したQタイプのビスをセットし、クロスレンチを使ってねじ込む。



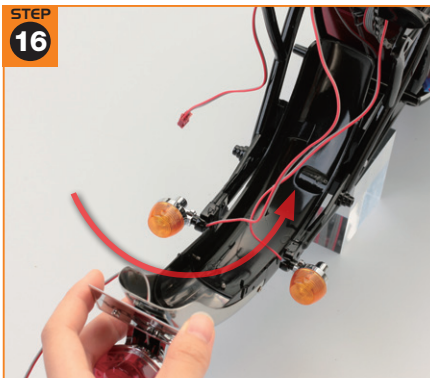
14の作業では、クロスレンチがミッション&ダイナモケースカバーに当たってしまい、作業がしにくく感じることも。その場合は一時的にミッション&ダイナモケースカバーを取り外し、Qタイプのビスをねじ込み終えてから、再度カバーを取り付けるといい。

STEP
15



ラジオペンチを使い、Qタイプのビスをしっかり締め込む。

STEP
16



56号で組み立てたリヤフェンダーを用意し、倒立させたメインフレームの後端部へ“下から差し込む感じ”でセットする。写真と照らし合わせ、向きを間違えないようにしましょう。

STEP
17



左右ウインカーのケーブルを、リヤフェンダーの写真に示した溝に通す。逆にいえば、ケーブルを通せる位置が、リヤフェンダーの正しい位置ということだ。

STEP
18



リヤフェンダーの位置がずれないように保持したまま、写真のビス穴へ34号で提供したGタイプのビスをセットし、1番の+(プラス)ドライバーでねじ込む。リヤフェンダーが、ガタガタ動かなければOKだ。

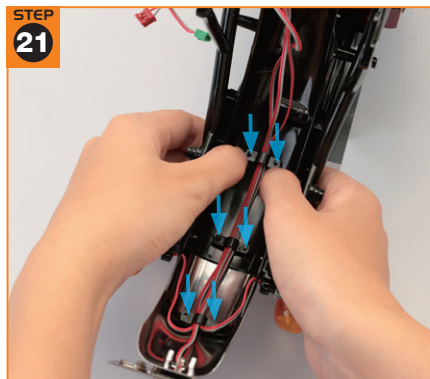
STEP
19



左右ウインカー、テールライトのケーブルを、写真のようにリヤフェンダー裏にまとめる。



STEP 20
34号で提供したコードホルダーを用意し、ピンセットを使ってリヤフェンダー裏側に取り付ける。コードホルダー両側の穴が小さく、フェンダー裏のピンが入らない場合は、つまようじなどを差し込んで穴を少し広げるといい。



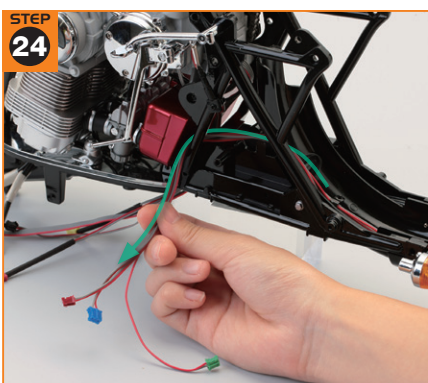
STEP 21
同じ要領で、コードホルダーを計3カ所に取り付け、リヤウインカーとテールライトのケーブルをまとめる。



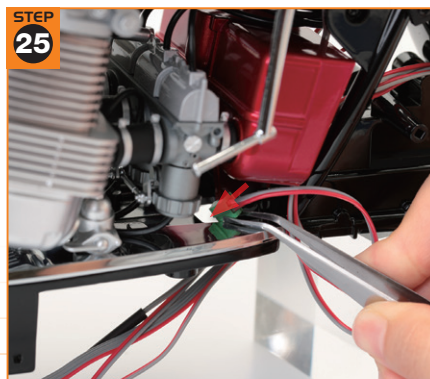
STEP 22
多用途接着剤を付属のへらに少量付け、それをコードホルダーから突き出したピンの先端部分に塗布し、コードホルダーをリヤフェンダー裏側に接着する。



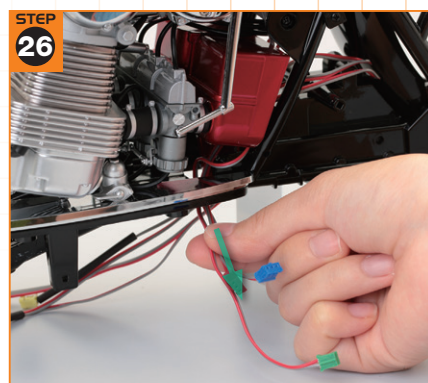
STEP 23
各ケーブルの先端に取り付けられたコネクタを、リヤフェンダー前側の四角い穴に裏側から通す。



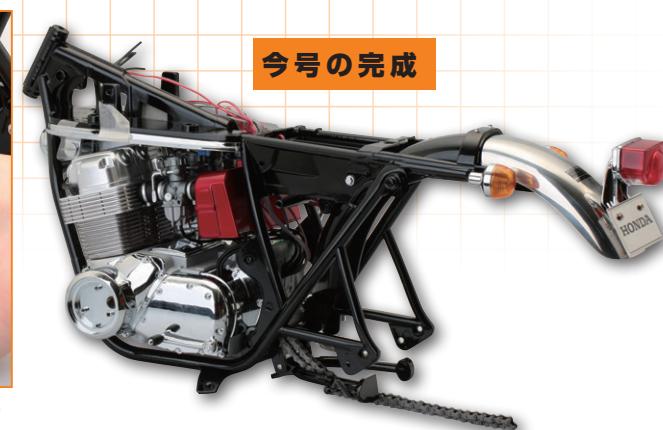
STEP 24
穴から引き出した各コネクタを、エアクリーナーケースの背面から外へと引き出す。



STEP 25
ピンセットを使い、各コネクタをエアクリーナーケースの真上(※現状ではフレームを倒立させているので真下)にある開口部へ差し込む。



STEP 26
左右リヤウインカー、テールライトのコネクタケーブルを開口部から引き出す。



これで今回の作業は完了だ。リヤフェンダーがメインフレームに取り付けられたことで、より実車のイメージに近づいた。なお、今回から59号までの作業で、これまでに組み立てたメインフレーム系パーツの大半を取り付けることになる。作業の工程が多く、分かりにくい部分もあるので、写真と照らし合わせながら慎重に組み立てていこう。今回の作業で使用しなかったパーツ、取り外したパーツ、組み立てたメインフレームは、次回の作業に備えて大切に保管しておこう。